



安全データシート

Page 1 of 7

LOCTITE SF 790 GASKET REMOVER known as Gasket Remover
420mL Spray JP

SDS No. : 529060
v001.2

改訂: 09.06.2015

発行日: 23.05.2016

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 1064227
製品名 : LOCTITE SF 790 GASKET REMOVER known as Gasket Remover 420mL Spray JP

会社名 :

ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号 : +81 (45) 758-1820
FAX番号 : +81 (45) 758-1826

2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

<u>危険有害性クラス</u>	<u>危険有害性区分</u>	<u>標的臓器</u>
可燃性/引火性エアゾール	区分 2	
皮膚刺激性	区分 2	
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 2A	
発がん性	区分 2	
特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分 3	中枢神経系
水生環境有害性(急性)	区分 3	

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:

警告

危険有害性情報:	<p>H223 可燃性又は引火性の高いエアゾール H229 加圧容器：熱すると爆発のおそれ。 H315 皮膚刺激 H319 強い眼刺激 H336 眠気又はめまいのおそれ H351 発がんのおそれの疑い H402 水生生物に有害</p>
安全対策	<p>P201 使用前に取扱説明書を入手すること。 P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。 P211 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。 P251 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。 P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 P264 取扱い後はよく手を洗うこと。 P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 P273 環境への放出を避けること。 P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。</p>
応急措置:	<p>P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。 P304+P340+P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分がわるいときは医師に連絡すること。 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P301-P310 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。 P332+P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。 P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。 P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。</p>
保管:	<p>P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 P405 施錠して保管すること。</p>
廃棄:	<p>P501 廃棄するときは、適用法令、および製品特性に従い、適切な処理および廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。</p>

製品ラベルの有害性情報は、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
ジクロロメタン	77.0 %
ブタン	10 - 20 %
エタノール	1 - 10 %
2-プロパノール	0.1 - 1 %
アンモニア	0.1 - 1 %

4. 応急処置

- 皮膚にかかった場合 :** 直ちに多量の水で（可能であれば石けんと）洗うこと
汚染された衣類や靴を脱ぐこと
発症したり症状が持続する場合、医師の診察を受けること。
再使用する場合には洗濯をすること
- 眼に入った場合 :** 直ちに流水でまぶたを指で広げて15分以上洗うこと。
直ちに医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合 :** 吐かせないこと：石油系又は芳香族系溶剤を含有します。
被災者を安静にしておくこと。
嘔吐した場合、患者の頭をひざより下に保ち、誤嚥を防ぐ。
医師の診察を受けること
- 吸入した場合 :** 空気の新鮮な場所へ移動させること
呼吸をしていない場合は、人工呼吸をする
呼吸が困難な場合、酸素を与えること。
医師の診察を受けること

5. 火災時の措置

- 消火剤 :** 水スプレー（霧）、泡、乾燥化学物質または二酸化炭素。
多量水噴射を使用しないこと。
- 火災時の分解物質 :** 炭素酸化物
窒素酸化物
つんとする煙およびガス
汚染された消火水は別に収集すること。これを絶対に下水管に流さないこと。
- 保護具 :** 自給式呼吸器および出動服の様な全身保護服を着用すること。
水の使用は消火手段に適さないが、付近の容器の保冷に有効である。
人員は火から風上にいるようにすること。

6. 漏出時の措置

環境に対する注意事項

製品が下水または排水溝に入らないようにすること。
もし安全であればさらなる漏れまたは流出を防ぐ。
製品が下水、水源または地域の広範囲への流れ込み、もしくは流れ込む恐れがある場合、当局に連絡すること。
この製品は水に不溶解性であり、水面に浮揚する。

除去方法:

全ての点火源を排除すること。
場所を換気する
漏出物の風上を保ち暴露から分離すること。
不活性な材質のもので吸収する（例えば、砂、シリカゲル、酸性バインダー、一般的なバインダー、おがくず）。
廃棄準備ができるまで、密閉された容器に保管する。
蒸気は空気より重いため地面に沿って移動又は換気装置により移動するので作業場から離れた場所で口火、熱等の着火源により着火するおそれがある。
除去作業を行う時は、第8項の暴露防止及び保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

使用中また全ての蒸気が換気されるまで：換気を続けてください-喫煙しないこと；全ての炎、種火、ヒーターを消す事；ストーブ、電気工具、器具またその他着火源を切る事。
眼、皮膚、衣服に付着しないようにすること。蒸気やミストを吸入しないこと。
使用後はよく洗うこと。
舐めたり飲んだりしないこと。
眼や顔への接触が起きる作業のために、安全シャワーや洗眼器を設置すること。
加圧容器に穴を開けたり焼却したりしないこと。
第8項を参照すること。

保管:

涼しく、良く換気された場所に保存し、熱、火花および裸火を近づけないこと。
使用準備が整うまで容器はしっかり閉めておくこと。
室温で保存すること。
涼しく、乾燥した場所に保管すること。
熱、火花、裸火またはその他の点火源の近くでの保存もしくは使用は厳禁。
< 40 °C
直射日光を避けること。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

成分	日本産業衛生学会	ACGIH
ジクロロメタン	50 ppm 170 mg/m ³ TWA 100 ppm 340 mg/m ³ CEILING (経皮)	50 ppm TWA
ブタン	500 ppm 1,200 mg/m ³ TWA	1,000 ppm TWA
2-プロパノール	400 ppm 980 mg/m ³ CEILING	200 ppm TWA 400 ppm TWA

設備対策:	しっかりした換気／排気を確保すること。
保護具:	
呼吸用保護具:	設定された曝露限度を上回る可能性がある場合は、オーガニックカートリッジの付いたNIOSH認可の送気マスクを使用する。
眼の保護具:	安全ゴーグルまたは側板付き安全眼鏡 飛び散ったりする可能性がある場合は、フルフェイス型の保護マスクを着用すること。 安全シャワーおよび洗眼所が利用できるようにすること。
皮膚及び身体の保護具:	耐薬品性、不浸透性手袋。 耐薬品性で、手袋とエプロンかボディースーツのどちらかを含む不浸透性衣類を着用し、皮膚接触を防止する。

9. 物理的及び化学的性質

形状:	液体
色:	緑
臭い:	アンモニア
pH:	該当なし
融点/凝固点:	データ無し
沸点:	-42.2 ° C (-44 ° F)
引火点:	なし
自然発火温度:	データ無し
蒸気圧:	725000 pa
蒸気密度:	データ無し
比重: :	1.25 g/cm3
n-オクタノール/水分配係数:	データ無し

10. 安定性及び反応性

安定性:	
化学的反応性:	強酸化剤 強酸、強塩基 湿度の高い空気 水
避けるべき条件	熱、ガス、火花および他の点火源。 不適合物質とは離して保存すること。 蒸気は空気と爆発性混合物を形成する。 長年に渡る空気もしくは湿気への曝露。 火または高温はパッケージの激しい破裂をまねく恐れがある。
危険有害な分解生成物:	炭素酸化物 微量の アンモニア 炭化水素

1 1. 有害性情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分	ばく露経路	標的臓器
ジクロロメタン	皮膚刺激性	区分2		
	眼に対する重篤な損傷 /眼刺激性	区分2A		
	発がん性	区分2		
	特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分3		中枢神経系
エタノール	眼に対する重篤な損傷 /眼刺激性	区分2A		
2-プロパノール	眼に対する重篤な損傷 /眼刺激性	区分2A		
	特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分3		中枢神経系
アンモニア	皮膚腐食性	区分1B		

一般毒性情報: 動物実験検査データなし。

1 2. 環境影響情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分
アンモニア	水生環境有害性(急性)	区分1

一般環境有害性情報: 下水管/地表水/地下水中に捨てないこと。

1 3. 廃棄上の注意

推奨廃棄方法: 国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。

汚染容器包装の廃棄方法: 使用後は、残留物の付着したチューブ、箱、ボトル は化学汚染物質として公認された埋め地に処理するか焼却する。
廃棄処理は必ず法規制に従って行うこと。

1 4. 輸送上の注意

Marine transport IMDG:

Class: 2.1
Packing group:
UN no. : 1950
Label: 2.1

EmS: F-D,S-U
Seawater pollutant: -
Proper shipping name: AEROSOLS

Air transport IATA:

Class: 2.1
Packing group:
Packing instructions (passenger) 203
Packing instructions (cargo) 203
UN no. : 1950
Label: 2.1
Proper shipping name: Aerosols, flammable

15. 適用法令

労安法 :

名称等を通知すべき有害物 2-プロパノール
ジクロロメタン
エタノール
アンモニア
ブタン

名称等を表示すべき有害物
変異原性が認められた既存
化学物質 ジクロロメタン
ジクロロメタン

消防法

該当しない

毒劇物法 :

該当しない

PRTR 法 :

第1種指定化学物質

ジクロロメタン

政令番号 186

高圧ガス保安法

ブタン

16. その他の情報

発行日:

23. 05. 2016

問い合わせ先:

近藤 由紀子、製品安全性及び規制業務担当

注意: :

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含む、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる二次的・偶発的損害についての責任も拒否する。

MSDSの内容に関するお問い合わせ ヘンケルジャパン株式会社 製品安全性及び規制業務担当 横浜市磯子区新磯子町27-7 TEL:045-758-1780 FAX:045-758-1771